

新高 1

英語	英語	英語の文を読み書きする上で最も重要となる「文型」「品詞」「句・節」を扱います。高校英語では1文あたりの単語量が増加し、構造も複雑になります。単語の意味をつなげた読み方ではなく、動詞に注目して文の骨組みである文型を把握し、修飾表現と修飾先に注目した読み方をする視点を養いましょう。
数学	数学 T / H	この春から新しく高校数学を始める方のための入門講座です。高校数学は数学 I、II、IIIとA、B、Cに分かれています。中でも数学 I には以降の科目の基礎となる重要な単元ばかりが集められています。この春期講習で一足早く高校数学の学習をスタートさせ、余裕のある高校生活を送りましょう。TクラスとHクラスがあり、レベルはT > Hです。

新高 2

英語	英語 H	京大、大阪大などの難関国公立大を志望する方対象の講座です。単語の意味を並べてなんとなく読む手法では、大学受験で出題される難解かつ抽象的な文章は読めません。英文法の知識を活用し、論理的に英文の意味を捉える方法を、明快な解説と良質な英文に触れることで身につけていきます。ハイレベルな英文を読み解く力を身につけ、英語力をさらに飛躍させる第一歩としましょう。
	英語 S	国公立大、関関同立大を志望する方対象の講座です。単語の意味を並べてなんとなく日本語に直すのではなく、大学入試に対応しうる構造把握力を身につけましょう。分析法を学び、良質な英文に取り組みながら定着を図る4日間です。単なる知識の詰め込みではなく、知識を読解や英作に活用していける力を体系的かつ分かりやすい講義を通じて磨いていきます。
数学	数学 T	春期講習では数学B「数列とその和」を、難関大入試を見据えて集中的に扱います。等差・等比数列の確認から出発し、 $\Sigma$ (シグマ) 記号を用いた数列の和の処理を体系的に整理する方法を講義します。単なる計算に終始せず、式の構造を見抜く発想力を養い、一段階上の問題に対応できる力を身につけます。※「数列」の残りの内容(漸化式・帰納法)は今後の通常授業で扱います。
	数学 H	春期講習では数学B「数列とその和」について、基本から応用まで幅広く講義・演習します。等差・等比数列を学んだあと、和を表す $\Sigma$ (シグマ) 記号、いろいろな数列の和の計算を行います。単純には計算できない数列の和もエレガントに計算できる方法を伝授します。※「数列」の残りの内容(漸化式・帰納法)は今後の通常授業で扱います。
	数学 S	春期講習では数学B「数列とその和」を、基礎から丁寧に講義します。最も基本的な数列である等差数列と等比数列の考え方を確認しながら、 $\Sigma$ (シグマ) 記号を用いた数列の和の表現と、その計算へと進みます。途中式の意味や考え方を重視し、「なぜそうなるのか」をきちんと整理します。数学に苦手意識がある方でも、理解しながら解けるようになることを目標とします。※「数列」の残りの内容(漸化式・帰納法)は今後の通常授業で扱います。
国語	現代文	この講座では、入試に向けた現代文の基礎を学習します。テクニックにとらわれない正攻法な「読み方」と「解き方」の基礎基本を、良質な大学入試の過去問演習を通して学習できるようになっていますので、現代文が苦手な方はもちろん、現代文の点数を安定させたい方や、さらにレベルアップしたい人にもおすすめの講座です。
	古典	この講座では、高1で学習する用言の再確認をしつつ、それを応用した古文の読解の基礎を学習します。主語・述語の把握、古典常識の理解、など、意外と知らない古文の「読み方」を高2のスタートで学習し、大学入試の得点源にできるよう、この講座で頑張ってください。
理科	物理 H	京大、大阪大、神戸大などの難関大を志望する理系の方を対象に、この1年間で理系物理の内容をほぼ1周する講座です。春期講習では、力学の「運動方程式」までを扱います。この1年で標準的な入試物理の考え方をマスターし、高3ではさらに発展的な学習に進むことで、難関大入試に向けて十分な力を養います。物理を得意科目にした人はぜひ受講してください。
	化学 H	京大、大阪大、神戸大などの難関大の理系志望の方を対象に、ゼロからスタートし、1年間で標準的な入試問題を解けるレベルまで到達する講座です。春期講習では化学の基礎となる原子構造・周期表・化学結合・化学反応式の基本を講義・演習します。講義では暗記ではなく、理論的で応用が効く手法で解説していきます。

**新高3**

英語	英語 H	京都大、大阪大などの難関国公立大を志望する方対象の講座です。春期では、論理的な構造分析力を育成するだけでなく、実践的な長文を用いて、英文の流れを把握する手法を身につけていきます。良質な読解問題を解きながら、その英文の背景にある知識や英語的な発想法までに触れ、質の高い講義と意欲的なクラスのなかで、合格に向けて受験生としての最良のスタートを切りましょう。
	英語 S	国公立大、関関同立大を志望する方対象の講座です。良質な英文を用いて、英文の展開を追っていく手法を身につけていきます。確かな構造把握力を育成しながら、速読のテクニックや背景知識にも触れ、受験生としての英文への向き合い方が学べる4日間です。ひとりひとりに寄り添う丁寧な指導で、入試英語のスタートを後押しします。
数学	数学ⅠAⅡBC-T	最難関レベルの問題を解く際に、問題へのアプローチの段階で巧みなアイデアなどが必要となります。それらの解法(アイデア)には根拠があります。京都大・大阪大レベルの問題は、「なぜその解法が正解に結びつくのか」の視点でアプローチすることが重要です。複数の単元にわたって良問を味わいながら、「基本をどのように活用すれば正解にたどり着くのか」という数学的発想力を育成します。
	数学ⅠAⅡBC-H	数学ⅠAⅡB(＋ベクトル)について、大学入試で出題される頻出問題を中心に解説し、演習していきます。授業内容は単に問題を解説するだけでなく、なぜそのような考え方、式変形をするか正解が得られるのかといった発想の方法、解答をどう構成して作成するのかといった論証法に重点を置いて、未知の問題にも対処できる実力を育成します。
	数学ⅢC-T	数学C「複素数平面」を講義します。複素数を平面上の点に対応させることにより、幾何的な問題を計算で考察することができます。この複素数平面について、共役複素数、複素数の加減乗除、極形式、ド・モアブルの定理、点の移動などの基本問題から扱い、ハイレベルな入試問題に対応する力をつけます。
	数学ⅢC-H	数学C「複素数平面」を基本から講義します。複素数を平面上の点に対応させることにより、幾何的な問題を計算で考察することができます。この複素数平面について、共役複素数、複素数の加減乗除、極形式、ド・モアブルの定理、点の移動などの基本問題から扱い、頻出問題に対応する力をつけます。
	数Ⅲの微分速習講座	数学Ⅲを使う入試で頻出の微分法を、4日間で集中的に完成させる講座です。数学Ⅲは計算力と反復練習が得点力に直結する科目です。微分法を早期に固めることで、その後の演習量を大きく増やせます。本講座で基礎から入試レベルまでを身につけ、4月期以降の積分法の学習へとつなげ、数学Ⅲを得点源にしていきましょう。
国語	現代文	この講座は、様々な大学の入試問題を通じて、入試現代文で要求される「読解力」と「解答への着眼点」の学習を主な目標とする講座です。いかなる文章であっても客観的に文章のポイントを把握する読解法と、様々な設問に対する論理的なアプローチの仕方を学び、春以降の学習の指針を立てていきましょう。※オンライン会議アプリを利用した配信型の講座です。
	古典	入試で古文が必要な方対象の講座です。古文は、主語や助詞が省略されるなど、現代文ではありえない構造になっています。省略されている箇所をどのように補い、点と点を繋いで線にしていくかを主眼に古文の読解方法を講義します。暗記に頼りがちな古文ですが、単語力・文法力に加えて読解力をこの講座で育成します。
理科	物理	春期講習から始まる、共通テスト・2次入試に対応する実践力を鍛える講座です。この講習では力学を題材に、与えられた条件を数理的に表現する力、また結果から現象を読み解く力を磨きます。大阪大や大阪公立大、関関同立大などの難関大を志望する理系の方はぜひ受講してください。
	化学	この春からスタートする、入試に理系化学を必要とする方が対象の講座です。本講座では予備知識をほぼ必要とせず、1年間で標準的な入試問題を解けるレベルまで到達することを目標としています。この春期講習では、化学の基礎となる原子構造・周期表・化学結合・化学反応式の基本を講義・演習します。暗記ではなく、理論的で応用が効く手法を講義・解説していきます。
地歴 公民	日本史	【単元：室町時代】鎌倉幕府がなぜ衰え、滅亡に至ったのか。南北朝動乱期の中で成立した室町幕府は、鎌倉幕府とどのような共通点・相違点があるのか。民衆の成長に伴って社会はどのような変化を遂げたのか。など、さまざまな角度から講義します。複雑になってくる中世史だからこそ、因果関係を意識して理解していきましょう。※オンライン会議アプリを利用した配信型の講座です。
	日本史：文化史特講A	文化史用語は膨大な数がありますが、それでも文化「史」というからには「流れ」が必ずあります。政治・社会経済・対外関係など通史の流れをしっかりと関連付けることで文化史を「理解」して、武器にしましょう。【A：古代(古墳、飛鳥、白鳳、天平、弘仁貞観、国風、院政期文化)】※100分×4回の映像講座です。
	世界史	皆さんの苦手な正誤問題。例えば、「スペインの無敵艦隊は北イタリア諸都市の海軍に敗れた」などです。こういう問題は、関連事項を知らなければ解けません。正解を導くためには物語を知っておく必要があります。この講習では過去問の演習を通じて、この物語がいかにか重要かを認識していただきます。※オンライン会議アプリを利用した配信型の講座です。
	入試政治経済	公民科目は暗記ではなく理解する科目です。そのような制度が必要となった理由・歴史的背景が必ずあります。その背景を理解することで飛躍的に点数が上がります。本講座では、暗記すべきところは暗記する、理解すべきところは理解する、これを明確に分けて講義しています。公民を得点源にできるよう、復習を徹底してください。※120分×4回の映像講座です。